

保健だより学校保健委員会特集号

平成30年12月18日
鳥取西高等学校

12月13日(木)、学校保健委員会を実施しました。これは例年、学校医・学校歯科医・学校薬剤師、PTA 保健環境委員、教職員で本校学校保健の課題などを話し合う会です。本年度も、参加者の各立場から提言をいただく協議を中心に行いました。

報告:

▽本校学校保健に係る報告▽生徒保健委員会活動報告 : 保健体育主任が報告
▽PTA 保健環境委員会報告: 「PTA 講演会」について、PTA 保健環境委員長が報告

協議: 「健康課題を有する生徒への初期対応」

▼協議テーマを「保護者の立場で困っていること」を主として、その初期対応について話し合いました。参加者各々の立場(保護者、学校医等、教職員)から、提言をいただきました。



【A班】「オンラインゲーム・SNS との付き合い方」

子どもから、スマホを取り上げてしまうことは難しい。本人が自覚することが大切。周りの大人として、どう接していくかが大切だと思われる。

【B班】「部活後塾へ行く子どもの晩御飯の摂り方」

部活が終わって塾に行くまでに、菓子パンなどを食べ、塾が終わってから、家で遅くにご飯を食べている。栄養面に偏りが出ないか、もう少し栄養を考えた軽食を自ら選べないものか。そして、この実態はどれくらいの範囲の生徒に及んでいるのか。

【C班】「受験前の冬休みの過ごし方」親として決して本人の言うことを否定しない。本人のペースを大事に。目の前のことに集中する。家族との食事は必ずとる(時間が乱れない)。時には友と話して、メンタルを安定させる。生活が乱れかけたら、学校(自習室)で勉強。10年後の自分を想像してみる。体重管理。

指導助言 御参加の皆様、貴重なご意見有難うございました。

- ▽谷口昌弘 内科医 「内科検診結果は特に問題ない。運動器検診も特に受診の必要な人はいなかった。熱中症予防・感染症予防の取り組みは良い。毎年必要なので、続けてほしい。」
- ▽三島香津子 内科医 「保護者・教職員が体調の不調を取り除く取り組みは良い。続けてほしい。栄養摂取は、高校生だけでなく、大学生も同様で、気を付ける必要がある。」
- ▽八田史郎 眼科医 「昔は、部活が忙しく定期検診を受けないことがあったが、現在、部活は週1回休みと聞いている。コンタクトレンズの定期検査に行きましょう。」(代読)
- ▽太田隆子 学校歯科医 「叶う叶わないは別として、生徒は、将来目標とすべき精神的な柱を作るべき。新聞記事に高校生の虫歯処置率が悪いとあり心配したが、西高は良いと思った。」
- ▽松本修司 学校歯科医 「歯は、客観的に見て非常に良い。自己管理能力、自己改善能力が高い。生徒は歯肉炎が多く、ストレスの多い生活をしている。体を痛めないで、乗り越えて。」
- ▽大村匡由 学校薬剤師 「寒くなりインフルエンザがはやる時期です。1時間に3回は換気をしてほしい。できなくても、教室廊下側の欄間は開けておいてほしい。インフルエンザも1日1回飲めばいいタイプのお薬も出ている。主治医に相談してみてください。」

最後に、山本学校長から「熱心にそれぞれの立場の思いを共有できた。今日考えたこと、いただいた御意見や指導助言を、これからの保健教育に生かしていきたい。」という挨拶で閉会しました。